

の南九州

第 19 号
平成24年 8月3日発行

議会だより

MINAMIKYUSHU CITY



EMだんごを作る子どもたち（勝目小学校）

茶業振興費など	1億9320万補正	2
条例の制定・改正		4
一般質問	9人が登壇	6
あの質問・提言はどうなった		11
活かせ提言		12
市民の声		14

などを補正

6月定例会

6月定例会は、6月12日から6月22日まで、11日間の会期で開催されました。

一般会計補正予算をはじめ、条例の一部改正などが審議されました。また、最終本会議に、指宿市・南九州市消防広域化協議会の運営費に係る補正予算が上程されました。

一部の議案に反対討論があったもののすべて原案可決されました。

一 一般会計

一般会計の主なものは、まちづくり事業費1540万円、茶業振興費1億2494万7千円、畜産振興費1798万1千円など、増額1億9320万2千円で補正後の予算総額は210億2320万2千円となりました。

総務費

○一般経費（行政関係費）

315万円

行政事件訴訟の判決確定に伴う弁護士委託料（成功報酬）。

○まちづくり事業費

1540万円

財団法人自治総合センターが実施しているコミュニティ助成事業に採択された団体への助成。

～審査の中で～

問 本事業の周知方法は、

答 行政嘱託員、校区・地区公民館長合同会において周知している。

○一般経費（財産管理関係費）

400万円

ウッドタウン調整池のフェンスの一部及び門扉の老朽化に伴う改修経費。

～審査の中で～

委員から 撤去するフェンス等は再生資源として処理するよつとの意見が出された。

○平和会館管理費

（一般経費）

11万円

知覧特攻平和会館管理組合の職員増に伴うパソコン

の購入費。

～審査の中で～

委員から パソコンを管理組合に貸し出す際には関係書類を整え、また情報管理に充分配慮するよつとの意見が出された。

○世界記憶遺産推進費

327万3千円

知覧特攻平和会館で収蔵している遺書や遺品等を世界記憶遺産として登録する。



老朽化した調整池のフェンス



収蔵展示されている遺品等

随時追加申請したい。委員から、アドバイザーの交通費を報償費に計算して計上していることについて、旅費での計上も検討されたいとの意見が出された。

民生費

○安心生活創造事業費

500万円

要援護者を地域全体で支え合う仕組みを構築する新規事業に要する経費。

～審査の中で～

問 対象地域の選定は、
答 募集したが応募がなく、高齢化率の高い地域の校区公民館長にお願いした。

録推薦を行う経費。

～審査の中で～

問 申請時期は、

答 来年3月に申請したい。

問 県及び他市と連携は、

答 県は申請に關与しない。他市との連携には時間を要するので市で先行したい。

問 登録された際どのような整備が必要か。

答 原本の公開が制限されるのでレプリカの複製が必要である。

問 すべて登録しなくてもよいのか。

答 数点を選んで登録し

茶業振興費・世界記憶遺産推進費



舗装予定の道路（厚地地区）

衛生費

○地方改善施設整備事業費（厚地地区）

270万円

排水路整備工事に路面舗装工事を追加して行うための経費。

問 なぜ路面舗装工事が対象になったのか。

答 排水路のみの整備では効果が薄いため排水路整備工事に路面舗装工事も併せて国へ事業申請を行ったところ補助対象とする旨の内示があった。

農林水産業費

○担い手育成対策事業費

85万5千円

集落営農組織の実践活動を支援するための集落営農推進員を配置するための経費。

～審査の中で～

問 人選は。

答 振興局で南薩地区管内の指導を行っていたコーディネーターを採用したい。

○かごしま茶産地拡大チャレンジ事業費

1億2182万円

県補助金の内報額の増に伴う補助金の増額。

～審査の中で～

問 加工施設の整備内容と助成対象組合は。
答 荒茶加工施設の老朽化対策で、蒸し機や粗揉機等の更新に



更新予定の製茶機械

係るもので頰娃地区の6組合である。

○県単独茶園洗浄対策事業費

312万7千円

茶園洗浄対策モデル事業補助金の内示による南九州市茶業振興会への補助金。

～審査の中で～

委員から 農家が降灰に悩まされており降灰対策事業の拡充や助成、さらには新たな洗浄機械の開発等にも取り組むようとの意見が出された。

消防費

○消防総務費（一般経費）

49万9千円

常備消防の広域化に向

けて指宿市と南九州市の2市で消防広域化協議会を設置するための経費。

～審査の中で～

「南薩地区消防組合に本市が離脱する旨の協議がなされていない」「住民に、まったく広域化の説明がなされていない」など4人の反対討論があった。

教育費

○小学校施設管理費

789万8千円

宮脇小学校体育館暗幕の更新や別府小学校南側校舎と北側校舎の渡り廊下に設置してあるスロープに上屋を設置する工事請負費など。

～審査の中で～

問 宮脇小学校の暗幕更新を当初予算に計上しなかった理由は。
答 当初予算編成時に学校からの要望順位は低く、子供たちの安全や緊急性を要するものを優先して予算要求を行なったため。

特別会計

簡易水道事業

○建設改良費

65万7千円

水道料金改定に伴い、量水器が未設置の熊ヶ谷地区に設置する経費。

農業集落排水事業

○川辺東部維持管理費

96万9千円

料金統一に伴う自家水等認定メーター器購入及び設置工事費。

～審査の中で～

問 メーター器設置について詳細な説明を。
答 メーター器は20ミリ管用27基、13ミリ管用16基を設置する。また地下埋設管について、ボックス21基を設置する。

企業会計

水道事業

○改良費用

350万円

国道225号線交差点改良に伴う配水管の布設替に要する経費。

古殿保育所を民間移管 南九州市立保育所条例



平成25年4月1日をもって、南九州市立古殿保育所を社会福祉法人別府福祉会に移管するため条例の一部を改正しました。

工場等の立地を促進 南九州市企業立地促進条例

南九州市内での工場等の立地を促進し、地域経済の発展及び就業機会の増大を図るため、市内において新たに工場などを新設し、増設し、又は既設の工場等に移転しようとする事業者に係る固定資産税について、特別措置を講じることができるよう条例を制定しました。

※この条例は平成24年7月1日から施行する。

受益者負担金等を統一 農業集落排水関係条例

◎南九州市下水道及び農業集落排水受益者負担金条例の一部改正

川辺東部地区の受益者負担金及び分担金の徴収が開始されます。

◎南九州市農業集落排水処理施設条例の一部改正

使用料が南九州市下水道条例の規定の例により統一されます。

※これらの条例は平成24年10月1日から施行する。

水道料金を統一 上水・簡水等関係条例



※給水条例、簡易水道事業・三本松工業団地水道条例は、旧町料金体系から料金を統一するため平成24年10月1日から施行されます。

ただし、24年10月1日から25年3月31日まで、及び25年4月1日から26年3月31日までの間で段階的に統一されます。

外国人住民の印鑑登録事務を改正 南九州市印鑑条例

外国人登録法の廃止に伴い住民基本台帳法の印鑑登録の取扱いに係る部分を改正しました。（日本人同様の印鑑登録の取扱いがされるようになります。）

※この条例は平成24年7月9日から施行する。

外国人登録法廃止に伴う改正 南九州市手数料条例

外国人登録法が平成24年7月9日に廃止されることに伴い、南九州市手数料条例の一部を改正しました。（日本人同様の住民票の取扱いがされるようになります。）

※この条例は平成24年7月9日から施行する。

◎産業建設常任委員会
「市道の整備状況と今後の対応策について」

◎文教厚生常任委員会
「高齢者福祉施設の整備状況と今後の対応策について」

◎総務常任委員会
「共生・協働のまちづくりについて」

◎各常任委員会所管事務調査項目

その他の案件

※ 同委員は市が議会の意見を求め法務大臣に推薦するものです。
任期は委嘱した日から3年間です。



川辺町 野崎

井上 陽子 氏

◆人権擁護委員◆

人事案件

◎防災行政無線（デジタル方式）通信施設整備工事請負契約を締結

平成24・25年度の2か年にかけて、穎娃地域の防災行政無線設備60カ所を更新・新設する契約が締結されました。

○工事請負者

株式会社 川北電工

○代表者

鹿児島市東開町4番地79

代表取締役社長

田中 陽一郎

○工期

平成24年6月22日から平成26年3月7日まで

○請負金額

3億3495万円

※ 知覧地域は、平成26・27年度に、川辺地域は、平成28・29年度に更新・新設する計画である。

全国市議会議長会表彰

平成24年5月23日、東京で開催された第88回全国市議会議長会定例総会において、長年の議員活動を通して、地方自治の発展と市政の振興に貢献した功績に対し、表彰がありました。

本市議会からは、合併前の町議会議員勤続年数の2分の1の年数に、市議会議員勤続年数を加えて、10年以上となる2人の議員が表彰されました。



深町 幸子 議員

（町議会11年3カ月）

市議会4年5カ月

松久保正毅 議員

（町議会12年7カ月）

市議会4年5カ月

議会の動き

- 8月27日 議会運営委員会
- 9月4日 本会議（質疑・委員会付託・一般質問）
- 5日 本会議（一般質問）
- 6日 本会議（一般質問）
- 7日 常任委員会
- 13日 本会議
（補正採決・決算特別委員会付託）
- 14日 決算特別委員会（審査）
- 18日 決算特別委員会（審査）
- 19日 決算特別委員会（審査）
- 20日 決算特別委員会（審査）
- 28日 本会議（決算認定採決）

議会の傍聴してみませんか。

次の議会は **9月4日** 開会予定

“手続き簡単” 本館2階で住所・氏名を書くだけ

知覧町西元

古西 敏江

昨年末から地域活性化のNPO運営に関わる中で、人と人が顔を合わせて直接『対話』することの大事さを痛感しています。

議会の傍聴席からは議員さんの背中しか見えませんが、お顔を拝見しながらの会話が大事だと思います。そして私達の活動をみていただき、地域を何とかしたいという熱い思いや課題を聞いていただきたいと思います。市政を担う議員さんと市民が対話できる議会のあり方を、市民の私達も一緒に考えていきたいです。

川辺町清水

清永 良二

初めて議会傍聴しました。議員よりさまざまな質疑があり当局の応答、軽微な日常生活から莫大な予算を必要とする大きなプロジェクトまで真剣な議論を拝聴できました。

その中で一つ感じた事が議員側からの質疑がもう少し具体的に解りやすければ傍聴する市民も理解しやすいのではと感じました。応答する市の担当者はその道のプロです。いろいろな質問や意見を交

わし活気ある議会を望みます。



が聞きたい!

いっぱん質問

竹迫 今回購入する7人乗り公用車仕様書の室内高を140cm以上とした



竹迫 毅 議員

蓮子 えい別府温泉センターに足湯の設置を多くの方が希望していると聞か、市民の健康増進や観光の面からも設置の考えはないか。



蓮子 幹夫 議員

足湯施設

別府温泉センターに設置を

市長／総合的に検討判断する

が固定客であり、市民の健康増進と福祉の向上に大いに寄与している。近くにはパワースポットとして釜蓋神社があり、リニューアルオープンした景勝地番所鼻公園等、観光資源として有望な素材があり、温泉センターは中間点として活用もできる。総合的に検討し判断したい。

公用車購入

予算節約を

市長／今後は考える

理由は。また、仕様を厳しくすると対象車両が限定され競争の原理が働か

なくなるのではないか。なお、運転は誰がするのか。

穎娃地域の中学校統合は

市長／民意が確認出来れば取り組む

蓮子 穎娃地域内の3中学校を統合して、生徒の教育環境を充実させる考えはないか。

市長 本市においても少子化の進行は依然として



えい別府温泉センター

市長 仕様書等の資料を作成し、入札契約運営委員会が入札方法や業者選定を決定し、最低落札者と契約する。

今回の公用車は、来賓送迎や視察研修等で利用するため、室内がより高く、車内空間の広い車を選定した。車両は限定さ

続いていく。遠からず統合、再編は避けて通れないと認識している。穎娃地域の民意を確認することが出来れば全力で取り組んでいきたい。

教育長 学校の在り方検討委員会の検討結果を受けて、民意を尊重した検討協議をする組織を設立することが肝要である。

市政のここ

9人が登壇

通学路

安全対策は

市長／合同点検を実施する

深町 全国で登下校中の子どもたちの列に自動車が出っ込むという悲惨な事故が多発している。子どもたちを守るために通学路の安全確保にさらに努める必要があると思うが、具体的な対策を問う。

市長 教育委員会が調整に当たりながら、学校、保護者、道路管理者及び警察署などによる合同点



深町 幸子 議員



購入された公用車

検を実施する。教育長 交通安全に焦点を当てたマップの作成を検討する。

自主防災組織活動の啓発対策は

市長／啓発用のチラシなどを作成する

深町 自主防災組織の組織率は100%となっているが、防災訓練などを実施していない組織もあると考える。組織の機能が発揮されるような対策を講じる考えか。

市長 啓発用のチラシなども作成し、自治会行事



仲良く下校する児童

れたが競争性はあると考える。また、運転は職員がする。

竹迫 両側パワースライドドアであるが、職員が運転するのであれば運転席側は手動にすると20万円くらい安くなることから、手動でよかったのではないか、この点を反省する考えはないか。

市長 今後は考えるが、予算内で一番機能の充実した車を買って何が悪いのですか。

竹迫 開き直りだ。職員は殿様運転手だ。市民も納得できないと思う。

副市長 車の購入にあたり決裁したが、スライドドアの件については認識が薄かった。今後予算の執行に当たっては十分注意したい。

や会合などの際に、消防分遣所職員や消防団員の協力を得ながら、消火訓練や防災訓練などを行

う。

先進的に活動を行っている自主防災組織との地域格差の減少に努める。

通学路

安全対策は十分か

市長／関係機関と連携し取り組み



菊永 忠行 議員

菊永 歩道が設置されていない危険個所がみられるが、今後の整備計画を示せ。

市長 市内全域に相当数あると想定される。学校ごとに、道路管理者や警察署などと連携し実施される合同点検の結果を踏まえ、緊急性に配慮しながら整備に取り組む。国や県の協力が必要なものについては、継続して要望を進めていく。

菊永 通学途中の児童生徒が巻き込まれる悲惨な交通事故が全国で多発しているが、事故防止に向けた通学路の安全対策は、十分と考えるか。
市長 各学校において、定期的に安全点検を実施するとともに、安全マップを作成し、要注意箇所について周知徹底がされている。関係機関と連携した一層の安全対策を講じていく。
教育長 十分整備されていない所もあり各学校の通学路点検を詳細に行い、その結果をもとに安全確保に努めていく。



路側帯の狭い横断歩道

事業内容と報酬に差異がある理由は

教育長／あり方検討委員会で協議・検討したい

条例公民館



東 兼喜 議員

東 本市は、3地域に20の条例公民館を設置し、各館で運営しているが、地域ごとに役割や活動内容及び館長等の報酬に差違がみられる。その理由を示せ。
教育長 各地域の実情な

どで若干の違いがある。現在は、合併前の在り方や地域性を受け継いだ事業内容を重視している。今後、現状と課題など模索し、在り方検討委員会で協議検討したい。公民館長報酬については、穎娃地域は、月額11万1000円で、知覧地域と川辺地域は、月額34万円の定額に校区の戸数割による額を上乗せした額で、月額3万円から5万4580円である。書記については、週4日勤務の、日



霜出校区公民館

額53000円で、月額8万4800円。これに、穎娃地域は、1万2000円上乗せし、月額9万6800円である。

穎娃地域においては、自治会及び地域の全ての自治活動の取りまとめをするなどの業務があるため、報酬額が高くなっている。

その他の質問

- 通学の安全対策
- 学校の管理

指定管理

老朽化している施設整備の考えは

市長／優先順位を設けて整備する



加治佐民生 議員

加治佐 指定管理している施設の内、老朽化している施設の整備をどのようにすすめる考えか。
市長 それぞれの施設における利用者の安全性や緊急性を考慮し、市が行うべき施設整備は、優先順位を設けながら実施していく。



老朽化が著しい近代化センター

加治佐 特に、老朽化が著しい頼娃農村近代化センターに対する方向性を示せ。
市長 頼娃農村近代化センターは、昭和47年度に青少年、女性、農業経営者等の農業経営技術の向上、農業技術者研修、その他の会議や集会等の用に供するため旧頼娃町が設置したもので、開設当初から、えい農協（現いぶすき農協）に無償で管

その他の質問
・移住定住促進対策

今後は、いぶすき農協への譲渡について検討していく考えである。

理委託され、平成18年8月からいぶすき農協が指定管理を行い、基本協定書で修繕に係る経費については、すべて農協が負担することとなっている。

高齢者福祉

見守り事業の状況は

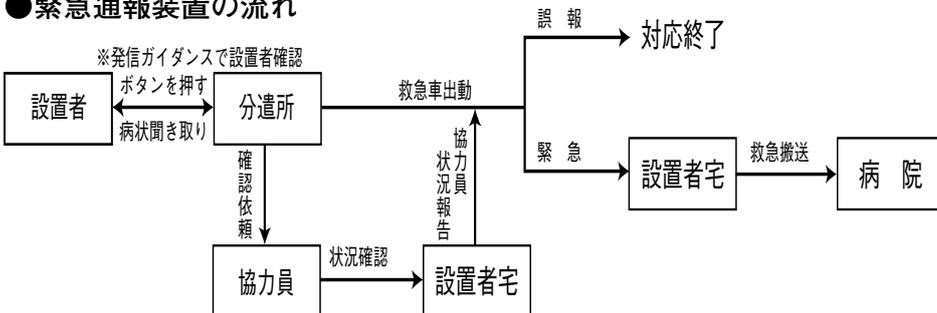
市長／安心して生活ができるよう体制の構築を図る



蔵元 慎一 議員

蔵元 高齢者世帯を見守るための各種事業の取り組み状況と実績は。また、事業実施に当たり、自治会、民生委員、事業者、消防、ボランティア等との協力体制は図られているか。
市長 見守り事業については、5事業を実施している。在宅福祉アドバイザー事業は333人で延べ3万2006回の訪問活動を行っている。緊急通報システムは23年度で29人に給付、高齢者訪問給食サービスは、延べ3566人に配食している。徘徊SOSネット

●緊急通報装置の流れ



ワーク事業は、警察署、消防署、自治会、各事業所等と連携しながら、支

●装置



援体制を構築している。災害時要支援プランは、659人が登録し、災害時に備えている。今後、高齢者の増加に伴い、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関と連携した体制の構築を図っていく。

高校再編

存続への取り組みは

教育長／進路指導連絡協議会で協議する



伊瀬知正人 議員

伊瀬知 南薩地域における高校再編の動きを把握しているか。高校再編関係市町村長かごしま県連絡協議会における問題点



穎娃高校



薩南工業高校



川辺高校

や解決策は。市内3高校は定員割れが生じているが、高校存続を市としてのどのように考えているか。

教育長 南薩地域における高校再編の動きは現在のところない。高校再編に廃止基準の撤回を求めて要請活動を行っている。県連絡会では、①就学困難な生徒の増加②保

護者の過大な経費負担③高校廃校による地域の疲弊・衰退④知事公約の地元との再編協議の有名無実化⑤地域住民の県教委への不信の増幅⑥再編整備基準の不備からくる地域間の不公平等を課題として取り上げている。このような中、本年度から市内3高校と5中学校の校長、教頭、教務主任、進路指導主任等で構成する「南九州市進路指導連絡協議会」を設立し、地元県立高校へ進学するための方策等について協議を始めた。

ブランド化の取り組みは

市長／物産展やイベント等にサポートしたい

農畜産物・特産品



西 次雄 議員

西 農畜産物及び特産品のブランド化に力を注いでいると思うが、本市の取り組みを問う。

市長 南の食料供給基地として、消費者及び市場から信頼される産地づくりを目指し、高品質のものを量をまとめて、安定



ブランド化に取り組むかわなべ牛

的に出荷できる産地づくりを進めている。

畜産のブランド化は「鹿児島黒牛」「かごしま黒豚」「白豚については「茶美豚」ブロイラーは「さつま若しゃも」地鶏は「さつま地鶏」「黒さつま」を中心に関約規制のなかで、全国展開されている。特産品のブランド化は、川辺仏壇が国の伝統的工芸品指定を受けており、工芸品創作技術コンク

ルを開催している。他の工芸品や加工食品も、商工会を中心に各店舗での取り組み実績が評価されつつあり、市としても物産展やイベント等をサポートしたい。

西 地域ブランド確立のためブランド推進協議会を設立する考えはないか。

市長 現在のところ考えていない。

追跡

あの質問・提言は どうなった?!



樹勢回復がみられる桜

質問

峯 苜 勝 範 議員
平成22年6月議会

知覧平和公園の桜並木の
樹勢回復は

市長

樹木医による樹勢回復措置を実施し延命を図る

平成22年9月から樹勢回復措置を実施

質問

菊永 忠行 議員
平成23年11月議会

二松台公園内の旧プールは雨水が溜り、雑木が繁茂しているが、安全面や衛生面から撤去を含め整備する考えは!

教育長

学校閉校とともに閉鎖され、約30年が経過している。今後、排水対策を講じ埋め戻しを考えている。

平成24年4月27日から埋設工事を実施



埋設工事中のプール

南九州市の 道筋を求めて

閉会中の 所管事務調査

言 提 せ 活

常任委員会が所管する事務について、議会閉会中に調査を行いました。今回は、防災の現状と課題及び今後の対策について、学校の現状と今後の在り方について、農業経営の実態と今後の方策について調査し、当局に提言をしました。

地域の实情に沿った 自主防災組織の育成を

◆総務常任委員会◆

総務常任委員会は、防災の現状と課題及び今後の対策について、福岡県八女市と熊本県水俣市で調査を行いました。

八女市は、自主防災組織を育成するための避難活動コミュニケーション育成強化事業を実施しており、組織率は89・9%となっている。

要援護者支援体制については、21年度に災害時等要援護者支援制度を発足させ、地域で要援護者1人に対して2人の支援員をつけている。防災情報の伝達手段として、受信端末にラジオが使えるコミュニティFMを24年7月に開局し、受信用ラジオを全世帯に配付する計画である。



土石流災害復興現場での調査（水俣市）

水俣市は、15年に発生した土石流災害で死者19人という大きな被害に見舞われた経験から、災害当時の初動体制や情報収集体制の問題点を検証し、防災計画の大幅な見直しを行っている。

自主防災組織の組織率は、災害前に7%だったが、組織化を啓発し現在100%となっている。組織の育成にあたっては、リーダー研修会の実施、リーダーハンドブックの配付などを行うとともに、活動計画書と活動報告書を毎年作成するよう指導している。

自主防災組織の訓練に係る経費への支援を検討するなど、定期的な訓練の定着を促すための施策を講じること。

提 言

(1) 自主防災組織の育成にあたっては、リーダー研修を行うとともに、すべての組織で実施計画及

(2) 自主防災組織の訓練に係る経費への支援を検討するなど、定期的な訓練の定着を促すための施策を講じること。

適正な教育環境に必要な 児童生徒数の的確な判断を

◆文教厚生常任委員会◆

文教厚生常任委員会は、学校の現状と今後の在り方について、福岡県嘉麻市、熊本県上天草市で調査を行いました。

嘉麻市では、児童数の著しい減少により、合併前に小学校6校を1校に統合するという方向性が定められていたが、合併

後、地域住民の理解がなければ統廃合は進められないという方針のもとに、無作為に抽出した1,000人と、小学校の保護者に対しアンケート調査を実施した結果、保護者の意見として、「小規模校によるきめ細かな教育に十分に満足している」という統合には消極的な父親からの意見に対し、母親からは、「将来の進学を考えて、より大きな社会集団で学習できることを望む」という意見が多数を占めた。

上天草市では、平成20年度から28年度までの9年間で、17校の小学校を6校へ、9校の中学校を4校に統廃合する計画としており、現在、小学校が11校、中学校が8校と統合が進んでいる。

なお、計画の説明に当たっては、子どもたちの教育環境の改善を大前提と捉え、まず、保護者に対し将来の学校の小規模化の実態について説明し、その後、保護者の意向も併せて地域への説明

提言

を行い、単に学校が無くなることによる、地域活力の衰退への議論とならないように進めている。

- (1) 学校の規模適正化基本計画等の作成に当たっては、将来の児童生徒数の減少だけを理由とせず、小規模校については、子どもの適正な教育環境に必要な1クラス当たりの児童生徒数を的確に判断すること。
- (2) 再編統合計画を進めるに当たっては、保護者や地域住民の意見を広く求め、統合することへの不安や反対の声に対しては、丁寧に対応し、十分な情報提供、説明を行うこと。
- (3) 学校は、子どもの教育のほか、防災・コミュニティ施設としての役割も担っていることから、統合された地域の活性化については、行政と地域が一体となって取り組むこと。

農業の実態を把握し、経営力向上のための振興策を

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会 は、農業経営の実態と今後の方策について、福岡県糸島市と宮崎県都城市で調査を行いました。

糸島市は、都市近郊型農業を展開しており、食育を含め地産地消を推進し、糸島市で生産される全ての農畜産物を糸島ブランドとし、新鮮で美味しいというイメージ定着のために情報発信している。

また、九州大学と連携しており、大学は各研究分野の最先端の技術や知識などをいち早く提供し、糸島市は農地等を研究のフィールドとして提供している。また、6次産業化への研究開発や事業化への支援などを実施し、「産・学・官の連携」や「農・商・工の連携」による新たな農業展開が図られている。

都城市は、多数の農業関連企業が立地されているが、流通コストがかからず、安定した契約単価で購入するため、農家の経営安定と生産意欲が増加し、規模拡大に繋がっている。また、農業者以外の雇用機会の拡大も図られている。

過去5年間の新規就農者は94名で、内、新規参入者は15名となっているが、地域農業振興センターや地域担い手総合支援協議会を設置し、関係機関が一体となって担い手の育成・支援、農地集積に取り組んでいる。

提言

- (1) 担い手不足が深刻化する中、意欲と能力のある農業経営者を育成・確保していくことが重要であることから、経営改善に向け、所得向上に繋がる農業方策を見だし、指導・普及に努めるなどの支援策を講じること。
- (2) 地域の実情に見合った農畜産物関連企業の誘致は、地産地消と農家の生産意欲を増大させ、また、新たな雇用の確保にも繋がることから積極的
- (3) 産学官及び農商工の連携を図り、農畜産物の高付加価値化・ブランド化を図るための新たな方策を講じるとともに、新商品の開発や地元食材を使った料理の普及に努めること。また、お茶やさつまいもなどの銘柄統一の実現に向けた課題解決に全力を挙げて取り組むこと。
- (4) 地元の新鮮な野菜等を地元で提供することは消費
- (5) 農業者、農業委員会、農協、県などの関係機関による協議会等を設置し、農業経営の実態を十分に把握するとともに十分な協議を行い、本市農業の振興策を示すこと。



農畜産物直売所（糸島市）



知覧町 川床 二男

南薩縦貫道で三町の絆がっちりと

東に母ヶ岳、南に開聞岳、北に金峰山を眺められる、特攻平和会館に近い、新町という集落に住んでおります。
ここは、知覧飛行場のあったところです。
現在は、広々と整地された畑にさつまいもや野菜などが植えられております。
この大地に、いよいよ南薩縦貫道の建設が始まるうとしています。建設のコースも決まっているというところで、集落では、どんな道路が建設されるのだろうかと期待してい

るところです。
縦貫道の話は、何年も前からあったのですが、ここまでは、長い年月が経っております。
川辺ダムから川辺の町まで建設され、これから川辺の田んぼの上を通り、山にトンネルを開けて下郡北から下郡南の上に出て、木佐貫原の台地に出てくるそうです。
長年待望していた縦貫道が、建設されるようになったのは、議員の皆さんが、長年にわたって努力していただいたおかげだと、感謝いたしております。

川辺地域と知覧地域は、この道路によって大いに便利になります。
頴娃地域の皆さんも利用しますが、今後は頴娃地域まで延長していただきますよう、頑張ってくださいと思います。



頴娃町 牧之内 下窪 健一郎

今後の南九州市の茶業に思うこと

私が、茶業の仕事に就いて早いもので14年になります。しかし、所得は年々減っていき、就農時に比べて、半分くらいになっていきます。その対応として、面積拡大、ISO90001取得、KGA P取得などしています。近年機械化が進み、周囲からは楽に感じられがちですが、多額の投資を必要とする中、長引く景気低迷、消費者の茶離れ(リーフ茶)、資材の価格高騰など茶業界にとっては大きな課題があります。その中でも、こ

れは仕方ないことですが、天からのいたずらです。近年、茶の芽が動き出してから、凍害・霜害・潮風害・桜島の降灰など品質にかなりの影響を与えて農家を苦しめています。この中でも桜島の降灰がかなりの量で南九州市を襲い、私たち農家を苦しめました。南九州市のほとんどの茶工場に降灰対策の洗浄機がないため、畑での洗浄をしないといけない現状でした。この降灰対策に対しては南九州市ブランド確立のためにも、早急に取り組まないといけないと思います。全国の茶業界を引っ張っていかなければならぬ南九州市です。品質の良いお茶を提供するのはもちろんのこと、経営の面でも、南九州市は凄いなと言われるよう、茶業界・行政一体となって考えていければと思います。

編集後記

憲法には地方自治のあり方が明記されている。「地方自治の本旨」に基づいて法律でこれを定めることとなっている。この「地方自治の本旨」とは一般的には、「団体自治」と「住民自治」といわれている。

いま今日、地方分権が進展する中で、住民自治の実現(民主主義)が要請されている。民主主義とは「民が主」の体制である。

「住民自治」とは行政を行う場合にその自治体の住民の意思と責任に基づいて行政を行うということだ。行政は、住民のものであり、首長のものではない。
鹿児島県知事選挙があった。住民自治のリーダーであって、支配者にはなつて欲しくない。(亀甲)



頴娃の秀花園(あじさい園)

広報編集委員会

- 委員長 峯 勝 勝範
副委員長 田畑 浩 一郎
委員 亀甲 俊博
西 次雄
下窪 一輝
吉永 賢三

※表紙のEMだんごについて

EM菌は80種類もの有用微生物の共生体で、もとは農業に利用する目的で開発されましたが、今では農業、畜産のみならず、医療や環境の改善などにも利用されています。写真のEMだんごは河川や池などの環境改善のために使用します。